

「議会が変わる 町民が変わる」

議会議員数の推移

単位：人

選挙年	定数	立候補数	議員内訳（年代別など）							3月末人口	備考
			30代	40代	50代	60代	70代	計	女性		
昭和22年	26	47	—	—	—	—	—	26		12,729	町制施行後の初選挙。
昭和28年	26	37	—	—	—	—	—	26	1	14,992	
昭和36年	26	30	—	—	—	—	—	26		16,842	津別町人口数のピーク。
昭和48年	22	27	2	6	9	5		22		11,963	定数26→22へ。
昭和60年	20	22		7	6	5	2	20		9,138	定数22→20へ。
平成元年	18	20	2	1	8	5	2	18		8,521	定数20→18へ。
平成5年	18	18		3	7	6	2	18	1	7,788	
平成9年	18	20		4	2	11	1	18	1	7,307	
平成13年	16	17		1	6	8	1	16	2	6,912	定数18→16へ。
平成17年	12	12			5	5	2	12	2	6,506	定数16→12へ。
平成21年	10	13			3	6	1	10	2	5,926	定数12→10へ。
平成25年	10	10			1	8	1	10	2	5,420	

- 定数は「津別町議会議員の定数を定める条例」の規定による。
- 3月末人口は住民基本台帳人口。

議会開催状況

年	定例会	臨時会	計	日数	付議事件					
					条例	予算	決算	意見書	他	計
平成21年	4回	6回	10回	17日	27	46	9	16	42	140件
平成22年	4回	6回	10回	17日	28	42	10	11	52	143件
平成23年	4回	5回	9回	16日	29	40	9	15	56	149件
平成24年	4回	2回	6回	13日	22	42	8	6	40	118件
平成25年	4回	6回	10回	18日	50	42	8	15	62	177件

- 定例会は、条例で年4回、規則で3月、6月、9月、12月に開かれることになっています。
- 臨時会は、必要に応じ開かれます。

各委員会の活動状況

区分	議会運営委員会		総務文教 常任委員会		産業福祉 常任委員会		議会広報 特別委員会		決算審査 特別委員会	
	案件数	日数	案件数	日数	案件数	日数	案件数	日数	案件数	日数
平成21年	32件	12日	87件	12日	110件	12日	議会報編集	5日	9件	2日
平成22年	37件	17日	87件	6日	114件	7日	議会報編集	4日	9件	2日
平成23年	38件	12日	90件	9日	105件	9日	議会報編集	4日	9件	2日
平成24年	25件	11日	88件	6日	114件	7日	議会報編集	5日	8件	2日
平成25年	39件	12日	89件	7日	131件	11日	議会報編集	5日	8件	2日

皆々まかしの意見

20代

津別で生活を続けたいという若い人がたくさんいます。顔が見え、声が聞こえる関係を持てるとうれしいです。

議会に興味を持ちました。ぜひ議会前の告知やつてくたさい。

30代

若い世代の議員の台頭があれば津別も変わるかも、でも議員報酬、待遇の問題で子育ての中でお金がかかる時期に無理。住民の意見を事前に聞き反映する議会であれば興味を持ち議会に目を向ける。

40代

聞こえてくるのは「いつの間にか知らない所で決まっていた」という声です。議会が変わることは歓迎しますが、議員の方だけに多く求めるのではなく、町民が関心事にすることだと思ふ。

50代

議会の時間帯、曜日をもつ

と町民に聞くべきでないか。議員4年間の行動など良否など報告することを実行して、活力ある議会にしてほしい。

60代

議会広報は必ず目を通して、議員独自に発信しているが、「議会報告」に関心があります。今回のフォーラム開催とても良い企画だった、議員さんも勉強しているのだと感じました。議会と町民のコミュニケーションが足りないと感じます。若い人が議会に耳を傾けるかが大事。

70代

議員活動の活性化、議員の資質の問題であるつくづく感じました。インターネット中継はすぐやってほしい。いろいろ話を聞いて良かった、議員一人一人がもっと活発に町民と接するべきだ。

80代

老人クラブと議員との懇談会を企画してほしい。

(アンケートから抜粋)

アンケート集計結果 (回答分)

単位：人

質問	参加したかどうか			また参加してみたいですか		
	大変よかった	よかった	わからない・無回答	はい	いいえ	わからない・無回答
20代	2	1	1	3		1
30代	1	3		4		
40代	3	2		5		
50代	8	9		17		
60代	23	11		34		
70代	6	7	3	13	1	2
80代		1				1
不明	2			2		
計	45	34	4	78	1	4

はぐるま

「議会の活動が見えない」「議員は何をしているのか」、このような声を真摯に受け止め、議会とは議員とはどうあるべきか、基本的なところから勉強をと、またインターネット時代の情報発信のあり方などの自主研修を重ねてきました。その中で、「議会改革フォーラム」を開催することとなりました。準備段階では、パネリストの人選や開催周知方法などに力を入れましたが、どれだけの町民の皆さまに来ていただけるのか不安なところがありました。開催当日は、会場いっぱい町の内外の参加者で熱気にあふれていました。基調講演、パネルディスカッションとも、私も議員としては大いに反省するところが多く、今後に生かさねばならないと痛感いたしました。

このたびのフォーラムの開催を契機に、多様化する住民ニーズにどう応えていくのか、また、子どもから高齢者までの方たちの声を、どう聴き町づくりの反映させていくのか、課題は山積しています。信頼される議会を目指しますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

議会改革推進会議 会長 篠原

歯車